

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年6月14日 (2012.6.14)

【公開番号】特開2011-177545(P2011-177545A)

【公開日】平成23年9月15日 (2011.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2011-037

【出願番号】特願2011-109397(P2011-109397)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月26日 (2012.4.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示する可変表示部を備え、前記可変表示部における識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定表示結果となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

前記特定表示結果とするか否かを、識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果にもとづいて識別情報の変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、

前記変動パターン決定手段の決定結果にもとづいて、予め定められた順番に従って1 段階目の演出から複数段階目の演出までの複数の演出を段階的に行う予告演出であって、前記特定表示結果とする場合には該特定表示結果としない場合よりも高い割合で予め定められた段階目の演出まで演出が行われるステップアップ予告演出と該ステップアップ予告演出における演出の態様とを決定する予告演出決定手段と、

前記予告演出決定手段により決定された前記ステップアップ予告演出を実行する予告演出実行手段とを備え、

前記予告演出決定手段は、前記ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出における複数の演出の態様が第 1 の態様である第 1 ステップアップ予告演出と、該ステップアップ予告演出における複数の演出の態様が前記第 1 の態様と異なる第 2 の態様である第 2 ステップアップ予告演出とを決定可能であり、

前記予告演出実行手段は、前記予告演出決定手段により前記第 1 ステップアップ予告演出が決定され、かつ前記第 2 ステップアップ予告演出が決定されたときに、該第 1 ステップアップ予告演出と該第 2 ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能であり、

前記第 1 ステップアップ予告演出における特定段階目の演出を開始する開始タイミングから該特定段階目の次段階目の演出を開始する開始タイミングまでの期間中に前記第 2 ステップアップ予告演出における所定段階目の演出を開始する開始タイミングがあり、

前記予告演出決定手段は、

前記変動パターン決定手段により決定された変動パターンが第 1 特定変動パターンである場合において、前記第 1 ステップアップ予告演出を決定したときは、前記第 1 ステップ

アップ予告演出において行われる演出の段階目として第 1 の段階目以上の選択を制限する第 1 制限手段と、

前記変動パターン決定手段により決定された変動パターンが第 2 特定変動パターンである場合において、前記第 2 ステップアップ予告演出を決定したときは、前記第 2 ステップアップ予告演出において行われる演出の段階目として第 2 の段階目以上の選択を制限する第 2 制限手段とを含む

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明による遊技機は、各々を識別可能な複数種類の識別情報（例えば、第 1 特別図柄、第 2 特別図柄、演出図柄）を可変表示する可変表示部（例えば、第 1 特別図柄表示器 8 a、第 2 特別図柄表示器 8 b、演出表示装置 9）を備え、可変表示部における識別情報の表示結果があらかじめ定められた特定表示結果（例えば大当り図柄）となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば大当り遊技状態）に制御する遊技機であって、特定表示結果とするか否かを、識別情報の表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 におけるステップ S 61 の処理を実行する部分）と、事前決定手段の決定結果にもとづいて識別情報の変動パターンを決定する変動パターン決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ 560 におけるステップ S 105 の処理を実行する部分）と、変動パターン決定手段の決定結果にもとづいて、予め定められた順番に従って 1 段階目の演出から複数段階目の演出までの複数の演出を段階的に行う予告演出であって、特定表示結果とする場合には該特定表示結果としない場合よりも高い割合で予め定められた段階目の演出まで演出が行われるステップアップ予告演出（例えば、第 1 ステップアップ予告演出、第 2 ステップアップ予告演出）と該ステップアップ予告演出における演出の態様とを決定する予告演出決定手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 100 におけるステップ S 518 A の処理を実行する部分）と、予告演出決定手段により決定されたステップアップ予告演出を実行する予告演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 100 におけるステップ S 846 ~ S 855 の処理を実行する部分）とを備え、予告演出決定手段は、ステップアップ予告演出として、該ステップアップ予告演出における複数の演出の態様が第 1 の態様である第 1 ステップアップ予告演出と、該ステップアップ予告演出における複数の演出の態様が第 1 の態様と異なる第 2 の態様である第 2 ステップアップ予告演出とを決定可能であり、予告演出実行手段は、予告演出決定手段により第 1 ステップアップ予告演出が決定され、かつ第 2 ステップアップ予告演出が決定されたときに、該第 1 ステップアップ予告演出と該第 2 ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能であり、第 1 ステップアップ予告演出における特定段階目の演出を開始する開始タイミングから該特定段階目の次段階目の演出を開始する開始タイミングまでの期間中に第 2 ステップアップ予告演出における所定段階目の演出を開始する開始タイミングがあり、予告演出決定手段は、変動パターン決定手段により決定された変動パターンが第 1 特定変動パターン（例えば非リーチはずれの変動パターン）である場合において、第 1 ステップアップ予告演出を決定したときは、第 1 ステップアップ予告演出において行われる演出の段階目として第 1 の段階目（例えば第 3 段階）以上の選択を制限する第 1 制限手段（例えば、ステップ S 572 において、演出制御用マイクロコンピュータ 100 が非リーチはずれ用の第 1 予告設定テーブル（図 70 の左上、図 101 の左上、図 114 ~ 図 115）を用いて、第 1 ステップアップ予告演出の演出態様として第 3 段階の予告演出 C 以上の予告演出を実行する演出態様を決定しない処理を実行する部分）と、変動パターン決定手段により決定された変動パターンが第 2 特定変動パターン（例えば非リーチはずれおよびノーマルリーチはずれの変動パ

ターン)である場合において、第2ステップアップ予告演出を決定したときは、第2ステップアップ予告演出において行われる演出の段階目として第2の段階目(例えば、実施の形態1, 3の場合は第4段階、実施の形態2の場合は第3段階)以上の選択を制限する第2制限手段(例えば、ステップS573およびS576において、演出制御用マイクロコンピュータ100が非リーチはずれ用およびノーマルリーチはずれ用の第2予告設定テーブル(図72の左上および右上、図103の左上および右上、図114~図117)を用いて、第2ステップアップ予告演出の演出態様として所定段階の予告演出(実施の形態1, 3の場合は第4段階の予告演出Z1~Z3、実施の形態2の場合は第3段階の予告演出Z, z)を実行する演出態様を決定しない処理を実行する部分)とを含むことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項1記載の発明では、予告演出実行手段が、予告演出決定手段により第1ステップアップ予告演出が決定され、かつ第2ステップアップ予告演出が決定されたときに、該第1ステップアップ予告演出と該第2ステップアップ予告演出とを可変表示中の同一期間に同時に実行可能であり、予告演出決定手段が、変動パターン決定手段により決定された変動パターンが第1特定変動パターンである場合において、第1ステップアップ予告演出を決定したときは、第1ステップアップ予告演出において行われる演出の段階目として第1の段階目以上の選択を制限する第1制限手段と、変動パターン決定手段により決定された変動パターンが第2特定変動パターンである場合において、第2ステップアップ予告演出を決定したときは、第2ステップアップ予告演出において行われる演出の段階目として第2の段階目以上の選択を制限する第2制限手段とを含む構成であるので、複数系統のステップアップ予告演出(第1ステップアップ予告演出、第2ステップアップ予告演出)を同時に実行して遊技の興趣の向上を図ることができ、さらに、複数系統のステップアップ予告演出において所定段階まで予告演出がステップアップ(変化、発展)すると特定変動パターンが実行されないため、複数系統のステップアップ予告演出における予告演出のステップアップ(変化、発展)に応じて大当りの期待感を高めることができ、遊技の興趣の一層の向上を図ることができる。